

# 進路通信

29年4月20日  
尾上中学校進路指導部  
No. 1

文責：蒔苗 千香子

## これからの『自分』を考える

進路通信第1号です。『見る夢から、叶える夢へ』向けて、様々な情報を伝えていきます。大切な情報もありますので、必ずお家の人にも見せてください。

さて、「進路」と聞けば「受検」とか「高校進学」を思い浮かべる人が多いと思います。確かに、中学卒業後は高校へ進学する人がほとんどです。しかしそれは、単に将来へと続く人生の途中結果であって、目的ではありません。これから1年後の自分、5年後の自分、10年後の自分を想像してみてください。どんな大人になって、どんな生活をしているのでしょうか。大人になったら自分で仕事を持ち、自分で稼いで、独立した人生を歩んでいかななくてはなりません。

中学時代は、自分と向き合い、どんな生き方をするのか、どんな人生を歩んでいくのか、自分の意思と責任で選択する第一歩だと思います。

夢や目標を見つけ、その実現に向けて頑張っていきましょう。

学年毎に…

## 『進路』について考える

1年生は…

『～になりたい』という夢をもつことが大切

中学校卒業後の進路について、少しずつ考えていきましょう。色々な職業について調べて選択肢を広げたり、何をするのが好きなのか自分自身を見つめ、自分の将来に向けての方向性を考えることが大切です。(一つでなくてもいいし、具体的な職業名でなくてもかまいません。)

2年生は…

夢を叶えるには、どうすればよいか具体的に考えることが大切

自分自身のこと(個性)が分かってきつつあるはず。そろそろどういう仕事に就きたいか、そのためにはどのような進路に向かえばいいのか、深く考える時期です。

3年生は…

『なろう！』『なる！』といった強い意志をもち、努力することが大切

中体連が終わるとまもなく体験入学が始まります。将来の夢を叶えるためには、何を高校で学ぶべきか、学校名だけでなく学科もしっかり押さえておく必要があります。体験入学を自分に生かすためには、高校卒業後まで見据えた進路選択が大事になってきます。(1日1日を大切に!!)

目標を立てたとしても、実際に目標に向けて努力なくては達成することができません。どのような毎日を過ごせばよいか、是非、下に書いてある詩を読んで何かを感じ取って欲しいと思います。

鉛筆や消しゴムや教科書など  
中学生にとって  
一番大切な持ち物を  
粗末に扱ったり 忘れてばかりいる人間は  
平気で人のものを借りるようになる  
そして、人に頼るクセのついた人間は  
やがて、人の宿題を丸写しをしても  
何の抵抗も感じなくなってしまう

そうなった人間は  
どんなにすばらしい決断をしても  
結局は 口だけで終わる人間になる  
なんでもない当たり前の習慣が崩れると  
一歩も前に進めないものだ

有正省三著 「中学生へ」

